



診療科のご案内



大阪母子医療センター
小児外科



全ての小児外科疾患に対応しています

当センター小児外科は、全ての小児外科疾患を網羅していますが、①新生児外科、②消化器外科および③腫瘍外科を中心として世界に通じる診療を目指すと同時に、④小児の日常的な外科疾患の治療にも力を入れています。

また、生活の質（QOL）を向上させる目的で、手術侵襲の少ない内視鏡外科手術や日帰り手術（注）を積極的に行っています。小児の外科疾患で診断・治療にお困りの例がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



① 新生児外科 他科との綿密な連携により治療方針を決定

周産期センターの小児外科として、センター開設以来特に力を入れてきた領域です。当センターでは胎児超音波検査による出生前診断を積極的に行っており、産科、新生児科、麻酔科、小児循環器科等関連各科との綿密な連携によって最も適切な治療方針を決定し、良好な成績を上げています。対象疾患は幅広く、食道閉鎖症、先天性横隔膜ヘルニア、先天性嚢胞性肺疾患、消化管閉鎖、腹壁異常、先天性胆道拡張症、卵巣嚢腫、リンパ管腫、小児固形腫瘍などがあります。なお、新生児先天性横隔膜ヘルニアに関しては、出生前診断例を中心に従来からさまざまな臨床研究に取り組んでいます。

② 消化器外科 多くの症例を診療

小児の代表的な消化器外科疾患である胃食道逆流症に対して多くの症例の蓄積があります。直腸肛門奇形、ヒルシュスプルング病を始めとする大腸肛門疾患、あるいは胆道閉鎖症や先天性胆道拡張症などの肝胆膵疾患に対しても、専門医の立場から積極的に取り組んでいます。

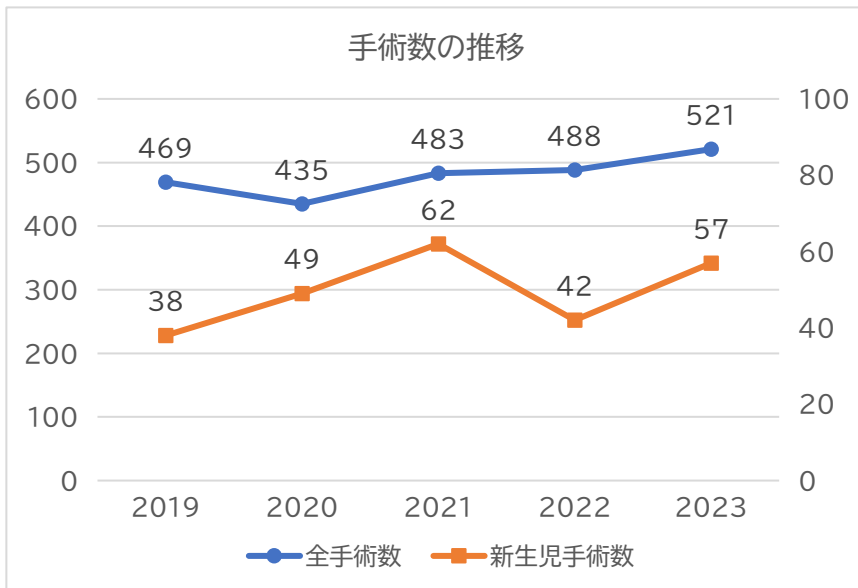


③ 腫瘍外科 腫瘍カンファランスに基づいて最も適切な治療方針を決定

全ての小児がん（小児悪性固形腫瘍）症例に対して、関連各科からなる腫瘍カンファランスでの検討結果に基づいて最も適切な治療方針を決定しています。外科的治療は化学療法や骨髄移植あるいは放射線療法などを含む集学的治療の一環として行っており、良好な成績を誇っています。

④ 小児の日常的な外科疾患 内視鏡外科手術や小切開手術を積極的に取り入れ

そけいヘルニア、臍ヘルニア、急性虫垂炎、漏斗胸などに対しても、患者さんの負担を軽減するように内視鏡外科手術や小切開手術を積極的に取り入れています。



注) 日帰り手術

原則として手術前日（月曜日手術の場合は金曜日）に入院し、病棟オリエンテーションや麻酔科受診後に外泊帰宅し、手術当日の朝に帰院して手術を受けて、手術当日の夕方に退院できます（手術翌日に退院することも可能です）。



担当医一覧

	火		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM
初診	奈良/野口		梅田/銭谷		樋渡	
再診	奈良/野口		梅田/銭谷		樋渡	
処置外来		●		●		
ストマ外来		●		●		
移植外来					上野	



小児外科
ホームページ

PICU ホットライン(24 時間受付直通)

☎ 0725-56-1070

重篤な小児患者さんを積極的に受け入れています

子どもの手術は当センターにお任せください

- ・小児の麻酔、看護に精通しています。
- ・チームでの医療を実践しています。
- ・家族の付き添いが必須ではありません。



泉北高速鉄道 光明池駅 徒歩 5分

大阪母子医療センター 患者支援センター

〒594-1101 和泉市室堂町 840 TEL0725-56-1220 (代表)

初診予約：FAX **0725-56-5605** (24 時間受付：午後 7 時以降受領の FAX の回答は次の受付開始後です)



(2024 年 9 月発行)